

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念をフロア内には提示してあるが、家族様等に周知できていない	近況報告など、家族様へ送る書類に掲載するなどして、周知を図る	近況報告に理念を掲載し、周知を図る	1ヶ月
2	20	コロナ禍により長く面会や、外出の制限があり、利用者様が家族や地域と交流を図れていない	コロナ以前の生活様式に戻し、自由に家族と面会や外泊、外食等ができるようになる	対面での一緒にの食事は現在も禁止されているが、その他は徐々に解禁中。感染対策を考えながら、コロナ禍以前の生活を目指し、家族への面会依頼、外泊依頼を行い、積極的な交流を再開する	6ヶ月
3	26	ケアプランが職員主体となっている	地域、家族、医療などを織り交ぜ、協働をはかり、地域で利用者を支えていく	ケアプランの内容を見直し、職員だけでなく医師や、マッサージ師などの医療関係者、家族などを記載し、チームで支えられるプラン作りを行う	6ヶ月
4	40	コロナ禍により食事レクの制限があり、食事の楽しみが減っていた	季節ごとの素材での調理を行うことで、季節感を感じてもらい、自身で選んだ好みのものを召し上がっていただく	テイクアウトや、職員調理を通じて、季節ごとの料理を味わっていただく。また、コロナ禍以前に行っていたバイキングや、一緒に調理も感染対策を考えながら再開する	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。